



第35回鳥学講座「最新恐竜学@JBF」を開催します

- ・（公財）山階鳥類研究所と我孫子市鳥の博物館は、11月1日（土）に第35回鳥学講座を開催します。
- ・ 講師に真鍋真先生をむかえ、「最新恐竜学@JBF」と題してお話しいただきます。
- ・ 本講座は11月1日（土）・2日（日）に行われるジャパン・バード・フェスティバル2025の参加行事です。

（公財）山階鳥類研究所と我孫子市鳥の博物館は、毎年11月に2日間にわたって行われるジャパン・バード・フェスティバルの参加行事として、鳥学講座を開催しています。本年のジャパン・バード・フェスティバルは25周年で節目の年となり、11月1日（土）・2日（日）に行われます。鳥学講座は第35回を数え、初日の11月1日（土）に開催します。

今年は講師に真鍋真先生をむかえ、「最新恐竜学@JBF」と題してお話しいただきます。



真鍋先生とティラノサウルスの復元骨格（撮影：田中健一）

◆第35回鳥学講座 開催概要

タイトル：最新恐竜学@JBF

講師：真鍋真（まなべ まこと）国立科学博物館・名誉研究員、群馬県立自然史博物館・特別館長

日時：2025（令和7）年11月1日（土） 13時30分～15時00分（開場 13時00分）

場所：我孫子市生涯学習センター「アピスタ」1Fホール（定員：120名）

千葉県我孫子市若松26-4

会場までの交通：JR常磐線 我孫子駅南口より徒歩10分

参加費：無料（当日先着順）

主催・問い合わせ：我孫子市鳥の博物館（電話04-7185-2212）、
（公財）山階鳥類研究所（電話04-7182-1101）

内容紹介

2024年は最初の恐竜メガロサウルスが命名されてから200年の記念の年でした。現在では、どこまでが恐竜でどこからが鳥類か、その境界がわからなくなるほど両者の間の化石の発見が相次いでいます。



公益財団法人 山階鳥類研究所

ジャパン・バード・フェスティバル開催25周年の今年、この25年間で恐竜から鳥類への進化の理解がどのように進歩してきたかを一緒に振り返ってみませんか？ そして恐竜学の近未来を展望してみませんか？

講師紹介

真鍋真（まなべ まこと）

国立科学博物館・名誉研究員、群馬県立自然史博物館・特別館長。

横浜国立大学教育学部卒業、米イェール大学大学院MSc課程修了、英ブリストル大学大学院PhD課程修了。PhD。

1994年から2025年3月まで国立科学博物館に勤務し、副館長、研究調整役などをつとめた。恐竜や古生物の図鑑、絵本、著書など多数。

中生代の化石から爬虫類や鳥類の進化を明らかにしようと、日々、物言わぬ化石に心の中で語りかけている。



真鍋先生とフタバズキリュウの復元骨格
(撮影：右近倫太郎)

この件についてのお問い合わせ先：

公益財団法人 山階鳥類研究所

千葉県我孫子市高野山115

電話：04-7182-1101

担当：広報 山岡容子（Eメール：pressrelease@yamashina.or.jp）

・写真のデジタルデータをご希望の方もお問い合わせください。